

「第15回西東京インスリン治療研究会」のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度『第15回 西東京インスリン治療研究会』を下記の要領にて開催させていただくこととなりました。今回は『食事から眺めたインスリン療法』をテーマとさせて頂き、難治例解決の糸口を探って参りたいと考えております。本会では、西東京地域における糖尿病治療、特にインスリン治療に関する現状での問題点や今後の可能性について様々な観点から検討を行うと共に、医師を中心とした医療関係者の知識と技術の一層の向上を目指すものと考えております。

ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

謹白

西東京インスリン治療研究会

代表世話人 石田 均

第15回当番世話人 近藤 琢磨 松下 隆哉

記

日時 : 平成30年2月24日(土) 16:00~19:30
場所 : 吉祥寺東急REIホテル 3階「むさしの」
東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-3 TEL 0422-47-0109
参加費 : 医師 ¥1,000 医師以外 ¥500

<プログラム>

<製品紹介> (16:00~16:20) 『持効型溶解インスリンアナログ製剤 ランタス®XR 注ソロスター®』

<一般講演> (16:20~17:00)

座長: 杏林大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・代謝内科 講師 近藤 琢磨 先生

東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 講師 松下 隆哉 先生

【一般講演Ⅰ】 『カーボカウントを用いた栄養指導の実際』

演者: 杏林大学医学部付属病院 栄養部 鈴木 絹世 先生

【一般講演Ⅱ】 『過度な糖質制限食にて急激な腎機能障害を来した肥満2型糖尿病症例』

演者: 杏林大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・代謝内科 七条 裕孝 先生

【一般講演Ⅲ】 『自覚症状なく診断に遅れをきたし、治療に難渋した高齢1型糖尿病の1例』

演者: 東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 助教 池内 佑一 先生

<パネルディスカッション> (17:00~17:20)

《休憩》 (17:20~17:30)

<特別講演> (17:30~19:30)

座長: 杏林大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・代謝内科 主任教授 石田 均 先生

杏林大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・代謝内科 講師 近藤 琢磨 先生

【特別講演Ⅰ】 『インスリン療法のエッセンス』

演者: 京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 講師 原島 伸一 先生

【特別講演Ⅱ】 『糖尿病食事療法のなかのカーボカウントの意義と正しい糖質調整食』

演者: 杏林大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・代謝内科 主任教授 石田 均 先生

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>1単位申請中

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(LCDE:5単位)申請中

※日医生涯教育制度2単位(カリキュラムコード76,82)申請中 ※「日糖協指導医取得のための講習会」対象

※会終了後、情報交換会を予定しております

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 共催事業 共催: 西東京インスリン治療研究会、サノフィ 株式会社